

日本と海外における鉄砲（小銃）発達史

年表の続きは博物館本館の展示でチェック！

ベリーが徳川幕府に
ホル小銃40挺を送る



片井景介が雷銃を用いる

雷管を用いた管打式銃が日本に伝来
（弘化年間）

雷粉 雷水を用いた発火方式の研究が始まる

高島秋帆が洋式銃を本格的に輸入・運用開始



各地で地方色や砲術流派ごとに特徴ある火縄銃を製造

国友藤兵衛能常（貫通）が国産初の空気銃である気砲を完成（文政2年）



鎖国政策により銃器開発停滞

日本に鉄砲伝来

天文年間	江戸初期～中期	文政年間	天保年間	弘化年間	嘉永年間	安政年間
1820年 ナポレオン死去	1825年 異国船打払令	1830年 フランス7月革命	1836年 アラモの戦い	1841～1843年 天保の改革	1853年 黒船来航	1854年 日米和親条約締結（開国）
		1837年 大塩平八郎の乱	1839年～1842年 アヘン戦争	1846年～1848年 アメリカ・メキシコ戦争	1853年～1856年 クリミア戦争	1857年～1859年 インド大反乱（セポイの乱）

イギリスでミニエー弾を改良した
エンフィールド弾開発（1850年）



フランスでミニエー弾開発
（1846年）



針打式の紙製薬莖を用いる
後装式小銃
登場（1841年）

雷管を用いた管打式銃の研究開発が各国で活発化
（1840～1850年代）



銃用雷管発明
（1840年代末～1850年代初頭）

フリント・ロック
（火打石式）発明
17世紀初頭

名古屋刀剣博物館

名古屋
刀剣ワールド
Nagoya Touken world

名古屋刀剣博物館「名古屋刀剣ワールド」は国宝や重要文化財などの刀剣・甲冑や、浮世絵・鉄砲をはじめ、世界に誇る品々をこだわりの展示方法で一体的にご紹介しています。
甲冑を身につけて写真撮影できるスポットや、
北館1階のミュージアムショップにも是非お立ち寄りください。

2024年5月
開館
しました！



<https://www.meihakujp/>



メーハク



一般財団法人
刀剣ワールド財団



東建コーポレーション株式会社

東建コーポレーション株式会社 代表取締役 会長 左右田 稔
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2丁目1番33号 東建本社丸の内ビル
<https://www.token.co.jp>